



国民春闘共闘

第 30 号

2017 年 4 月 24 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2017 年春闘・進ちよく状況調査第 2 回報告

ストライキを背景に賃上げすすむ

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 17 日、加盟全単組を対象とした「春闘進ちよく状況調査」を実施し、17 単産（2281 組合）からの報告をまとめました。

1. 要求提出状況

4 月 17 日現在、別表の 17 単産から、交渉単位数で 2281 組合の報告が寄せられました。このうち要求書提出組合は、1433 組合（62.8%）となっています。要求提出率 100%の単産は、検数労連、合同繊維、全損保、郵政ユニオンとなっています。これに全倉運が 9 割を超える要求提出率、出版労連 89.0%、JMITU（78.8%）、化学一般労連（76.7%）と続いています。前年同期（4 月 19 日：1475・52.8%）と比べると、全体で 10 ㊦の増加となっており、全農協労連、建交労、JMITU、出版労連、映演労連、日本医労連などで前年同期に比べて提出率が改善しています。

2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の建設関連労連を除く）の 46%にあたる 1040 組合でストライキ権の確立が確認されています。前年同期（1047 組合・47.3%）と比較すると、組合数で 7 組合減、率で 3 ㊦減となっています。

全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、検数労連、全損保、郵政ユニオンとなっています。

3. 回答引き出し状況

要求提出組合（1433 組合）の 64.3%にあたる 920 組合で回答を引き出しています。検数労連・郵政ユニオンで 100%の引き出し率に続き、出版労連（93.2%）、生協労連（89.7%）、全印総連（87.0%）、化学一般労連（86.4%）となっています。

3 月末の回答集中ゾーンを経て、建交労、JMITU、化学一般、生協労連、民放労連、日本医労連など各組織で追い上げが進んだほか、検数労連が産別交渉妥結を受けての回答引き出し、映演労連の回答指定日を受けての回答引き出しなどが進んでいるものの、前年同期（982 組合・67.3%）との比較では、組合

数・率ともに下回っています。

4. 回答内容

回答内容では、＜定昇制度のある＞交渉単位 505 組合で見ると、2 割強 (22.4%) にあたる 113 組合が「定昇+ベア」を獲得、約 4 分の 3 (77.4%) にあたる 391 組合が「定昇確保」となっています。前年同期と比較すると、交渉単位では、「定昇+ベア」を獲得した組合(前年同期 26.8%)は 4 割減、「定昇」獲得組合 (73.0%) で 4.4 ポイント増となっています。

また、＜定昇制度のない＞交渉単位 212 組合では、7 割 (70.3%) に当たる 149 組合が賃上げの「有額回答」を引き出している一方で、3 割 (29.7%) にあたる 63 組合が「ゼロ回答」となっています。前年同期との比較では「有額回答」組合 (79.1%) は 8.8 割減、「ゼロ回答」組合が 8.8 割増となっています。全体として厳しい水準にある状況です。

5. 平均賃上げ額・率とベースアップ

回答額提示のあった 673 組合での単純平均 (1 組合あたりの平均) 賃上げ額は 4,790 円となっています。また、賃上げ率は、345 組合平均で 1.97%となっています。

ベア相当額の単純平均は、1,141 円となっています。そうした中でも、要求に根差して粘り強く交渉を重ねた組合や、従業員の一言カード集めなどに取り組んだ組合からは、昨年を上回る水準の回答を引き出しているという経験も報告されています。

6. ストライキ実施状況

調査組合の 10.0%にあたる 229 組合から、237 回のストライキの実施報告が寄せられています。前年同期 (208 組合) と比較して、21 組合増となっており、厳しい情勢の中、ストライキを実施して、ベア獲得を目指して奮闘している様子が浮き出しになっています。また、福祉保育労が 3.16 統一行動日に各地でストライキを実施しており、ストライキ数は大きく伸びることが予想されます。

7. 妥結状況

4 月 17 日現在の妥結組合数は、要求提出組合の 19.7 にあたる 282 組合となっており、引き続き多くの組合が要求実現に向けて、奮闘を重ねている様子が見て取れます。

STOP 暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法
賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化